

# 大和市 人口ビジョン



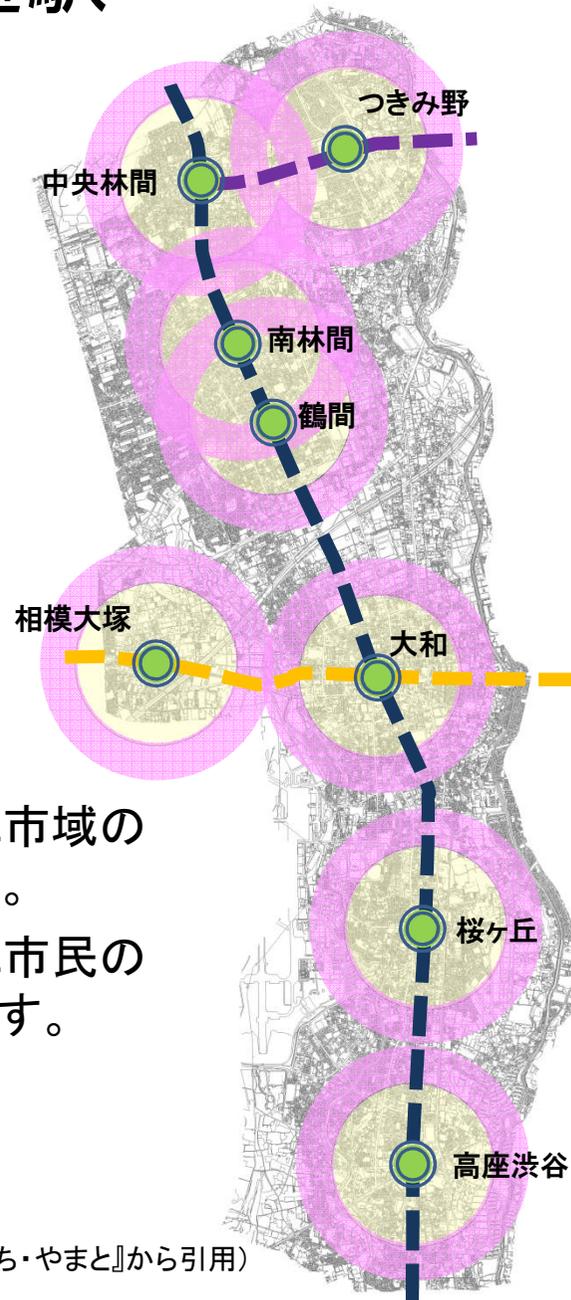
健康創造都市やまと

(検討資料・域内分析補足)

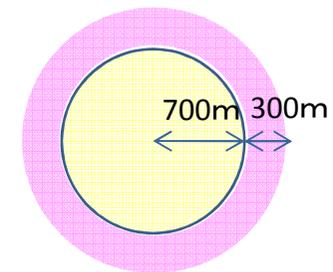
## 2. 都市基盤、社会経済状況等

### (1) 地勢・都市基盤の状況

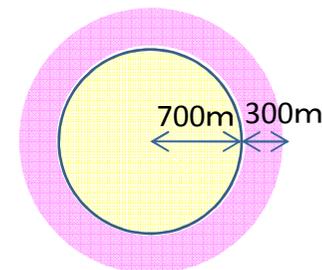
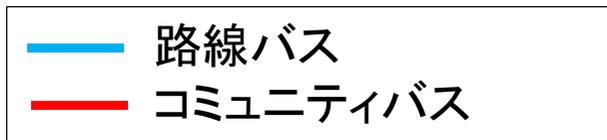
# ●市内の鉄道駅



- 鉄道駅から1km圏内に市域の71%が含まれています。
- 鉄道駅から1km圏内に市民の約80%が居住しています。



# ●市内の鉄道駅とバスの運行状況

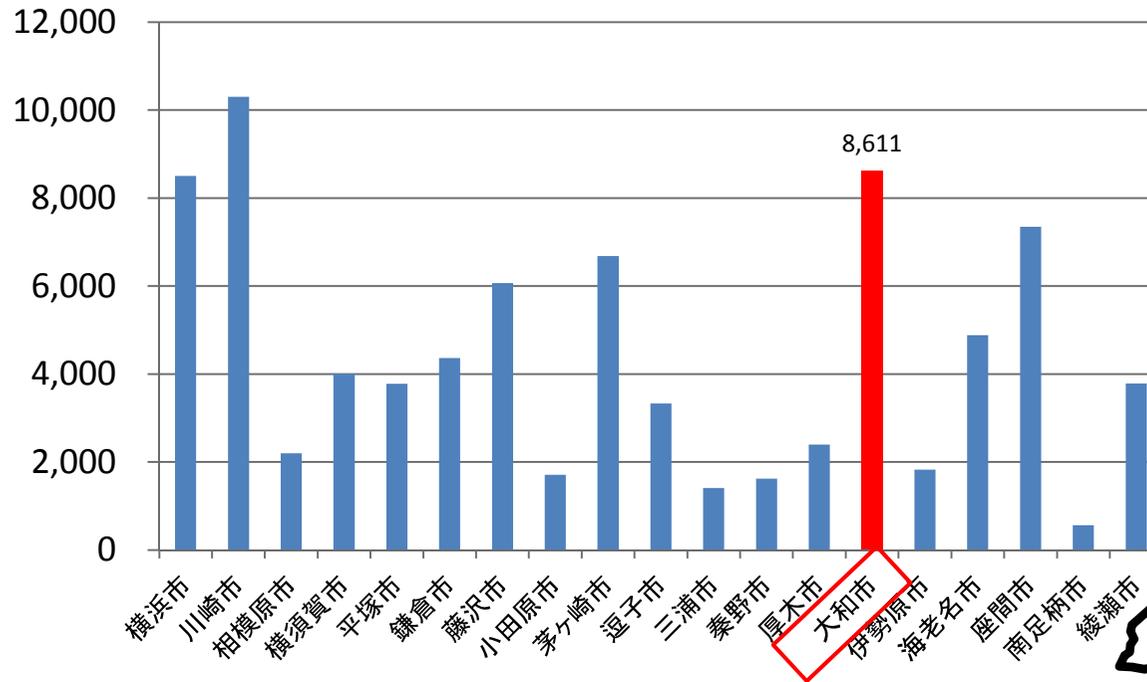


- コミュニティバスのルートは鉄道駅からの距離や、坂道の状況などを考慮したものとなっています。
- 路線バスよりも小型の車両を使用しており、生活道路など細い道も運行できます。
- そのため、きめの細かいルートを走行することができるのが特徴です。



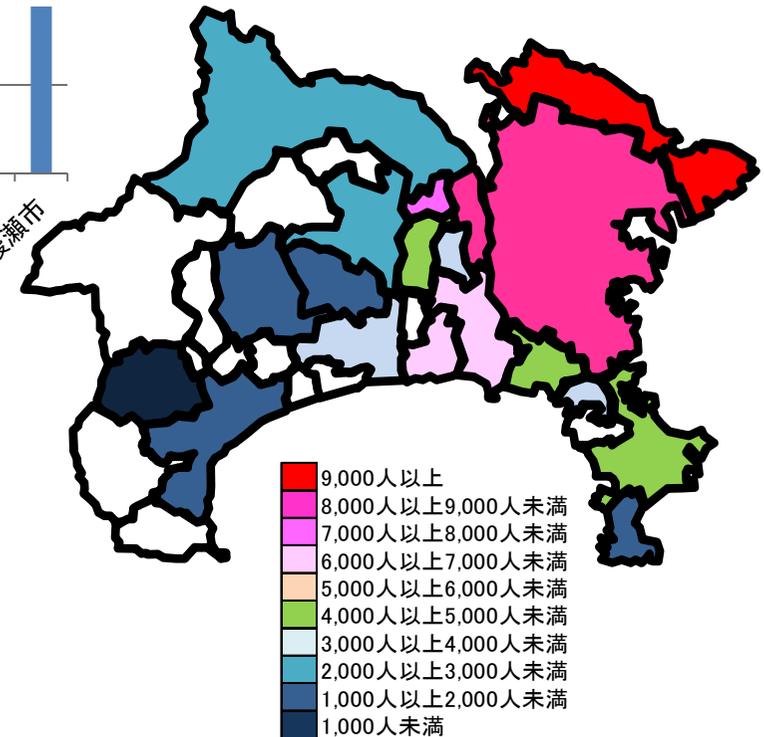
# ●人口密度の状況

市域1km<sup>2</sup>あたりの人口(2015年9月)



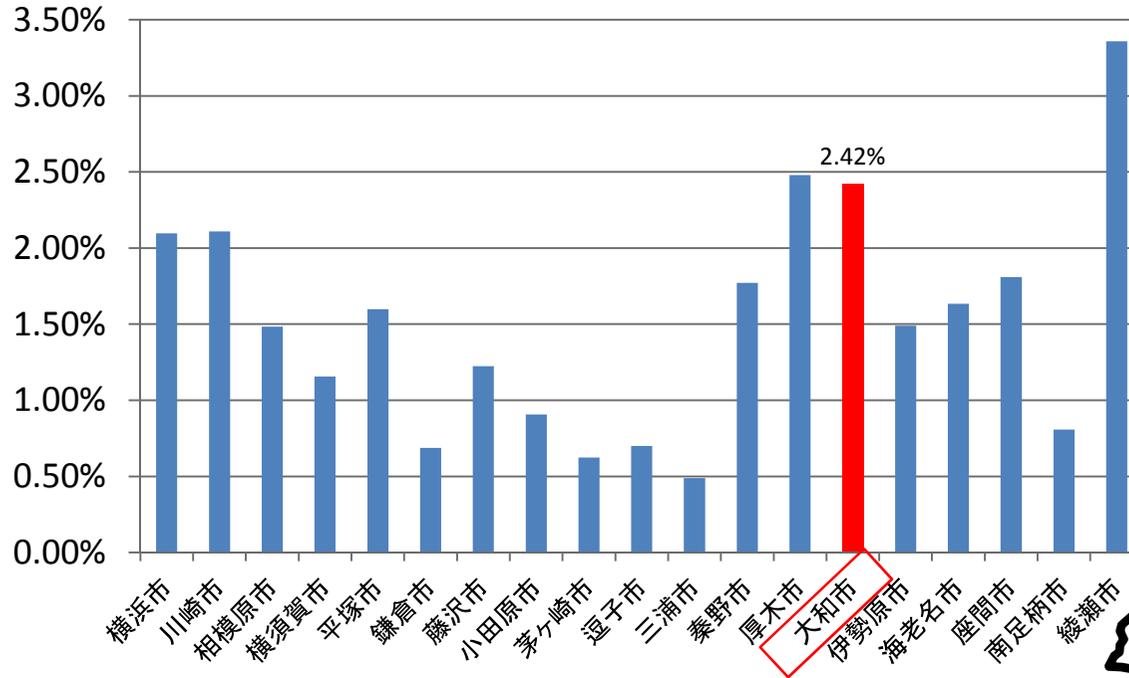
(出所: 神奈川県「人口と世帯」をもとに作成)

→県内19市で2番目に高い水準となっています。



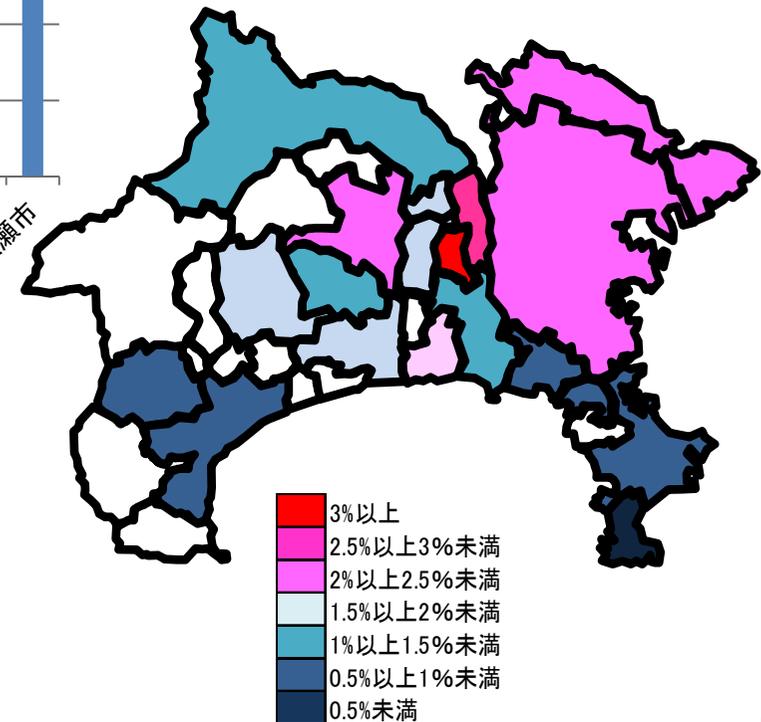
# ●外国人市民の状況

## 人口に占める外国人市民の割合(2015年1月)



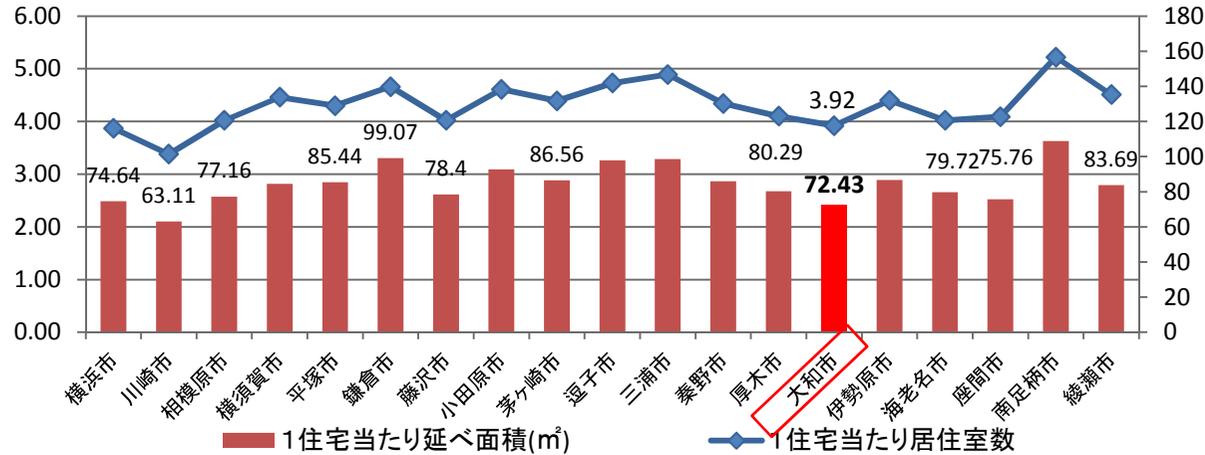
(出所: 神奈川県「人口と世帯」、「県内外国人統計」をもとに作成)

→県内19市で3番目に高い水準となっています。



# ●住宅事情

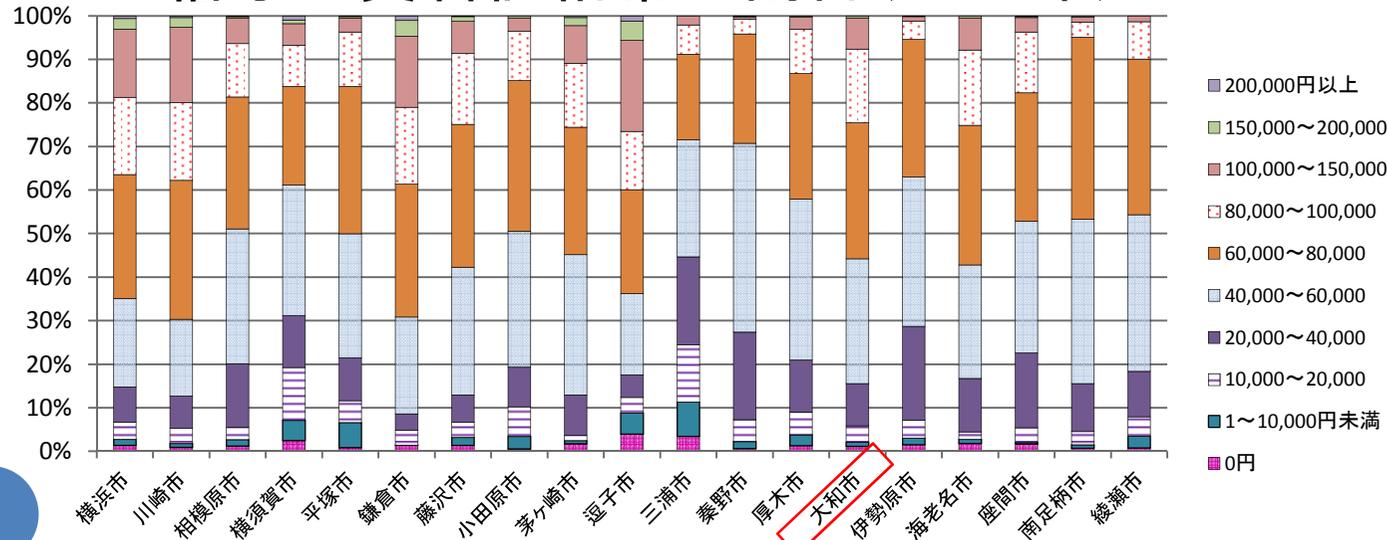
## 1住宅当り延べ面積と居室数(2013年)



→ 県内19市で2番目に低い水準となっています。

(出所:総務省統計局「平成25年住宅・土地統計調査」をもとに作成)

## 借家の賃料価格帯の割合(2013年)

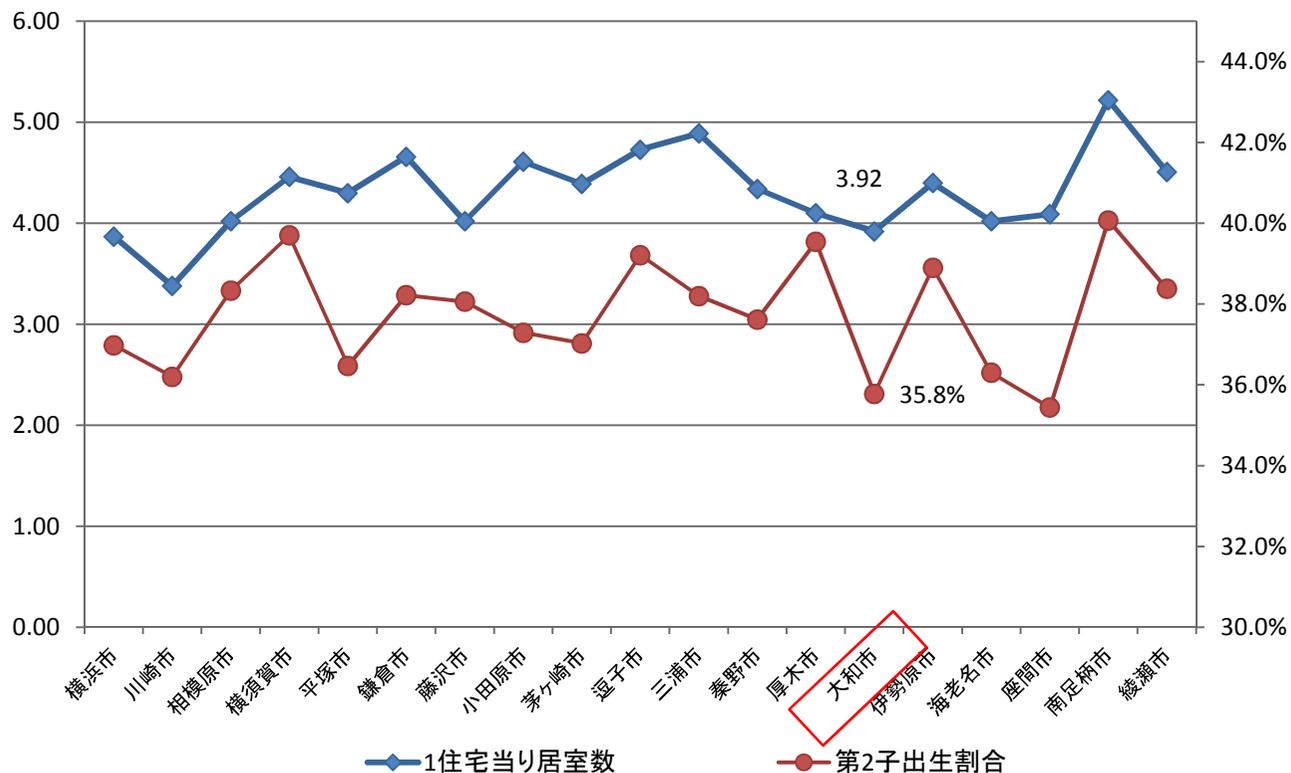


→ 大和市の価格帯には藤沢市・海老名市と類似性が見られます。

(出所:総務省統計局「平成25年住宅・土地統計調査」をもとに作成)

# ●住宅事情

## 1住宅当り居室数と第2子出生割合(2013年)



- 1住宅当りの居室数と第2子の出生割合には相関があります。
- 本市で30歳代が転出超過となっている背景には住宅事情も影響している可能性があります。

(出所:総務省統計局「平成25年住宅・土地統計調査」、神奈川県「衛生統計年報」をもとに作成)

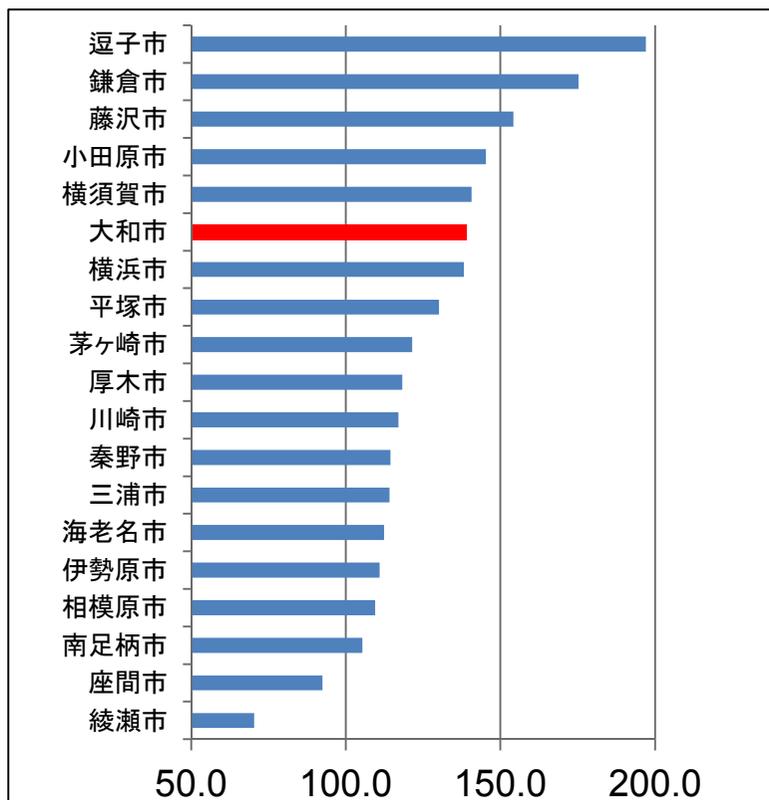
## 2. 都市基盤、社会経済状況等

### (2) 出産・子育てに関する環境

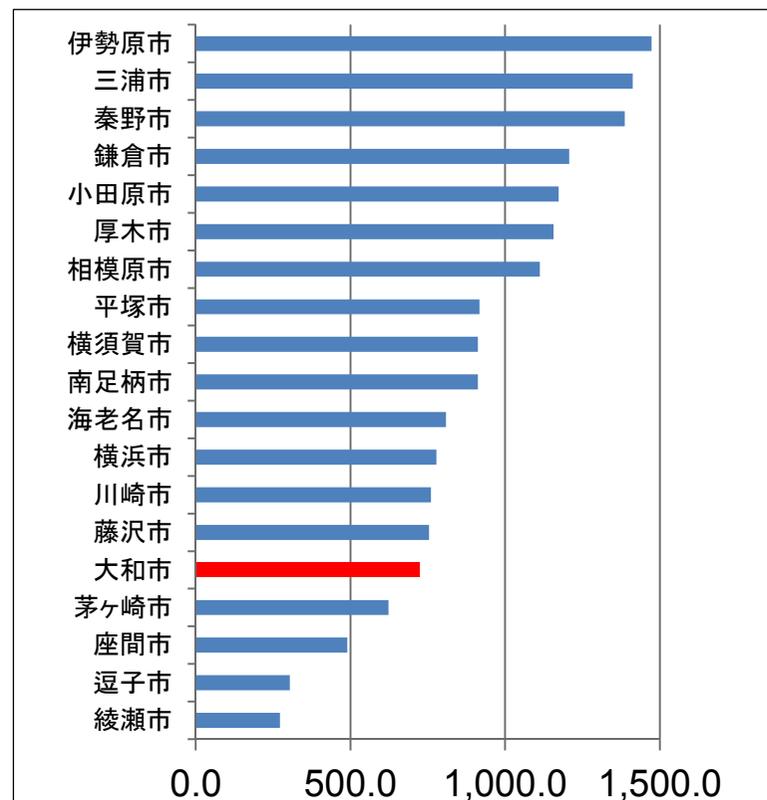
# ●医療施設等の状況

## 人口10万人あたり医療施設数と病床数(2012年)

### 医療施設数



### 病床数

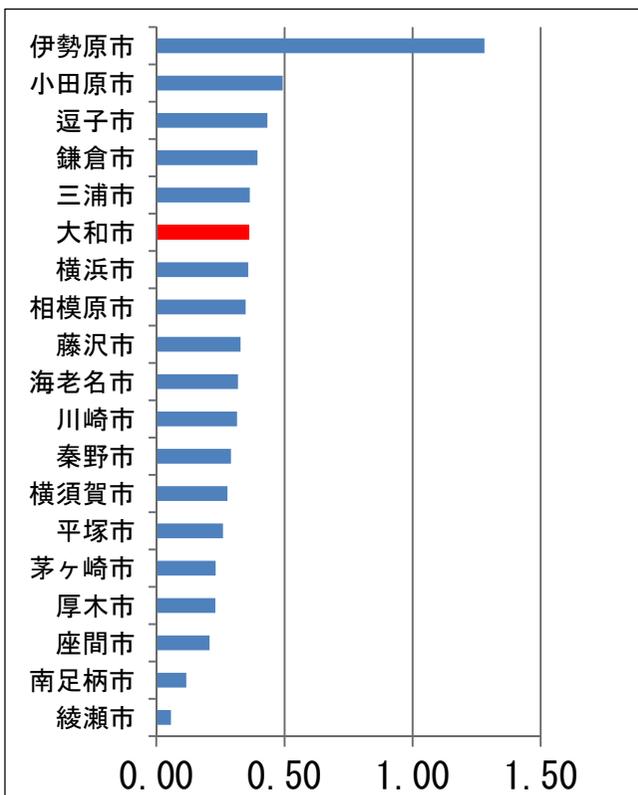


→ 医療施設数は県の水準を上回っていますが、病床数では下回っています。

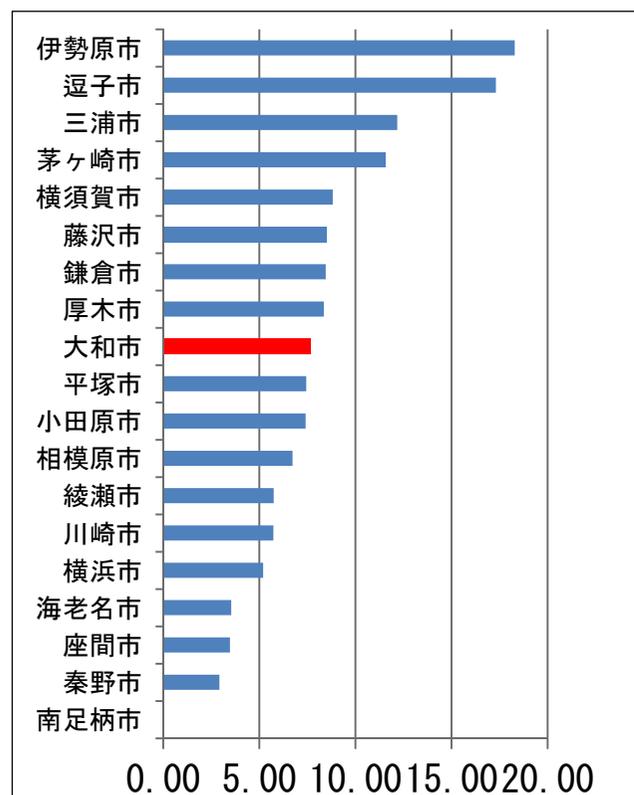
# ●医療施設等の状況

人口千人あたり医師数(2012年)と  
人口10万人あたり分娩可能医療機関(2015年)

医師数



分娩可能医療機関



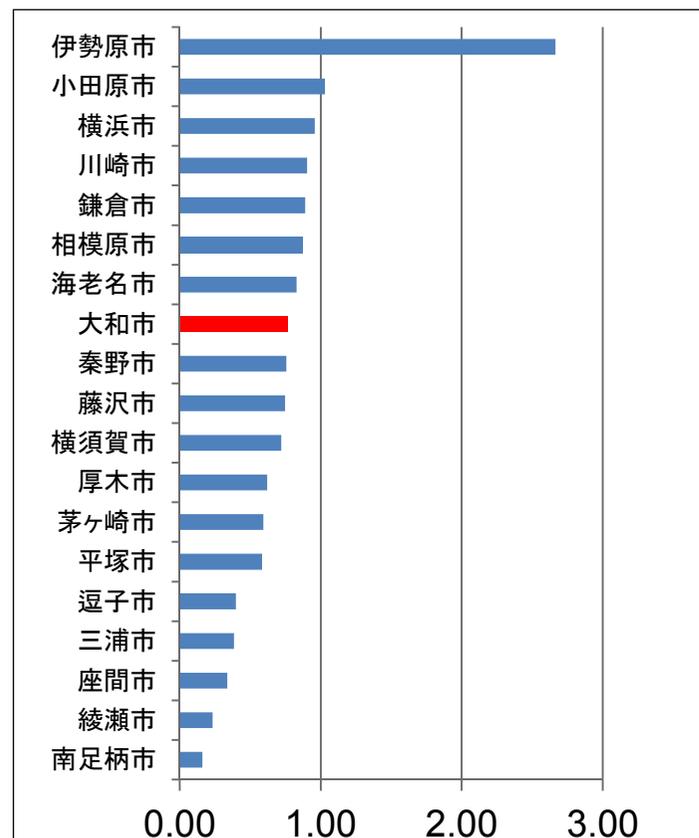
# ●医療施設等の状況

人口千人あたり医師数 産婦人科・小児科(2012年12月)

産婦人科医

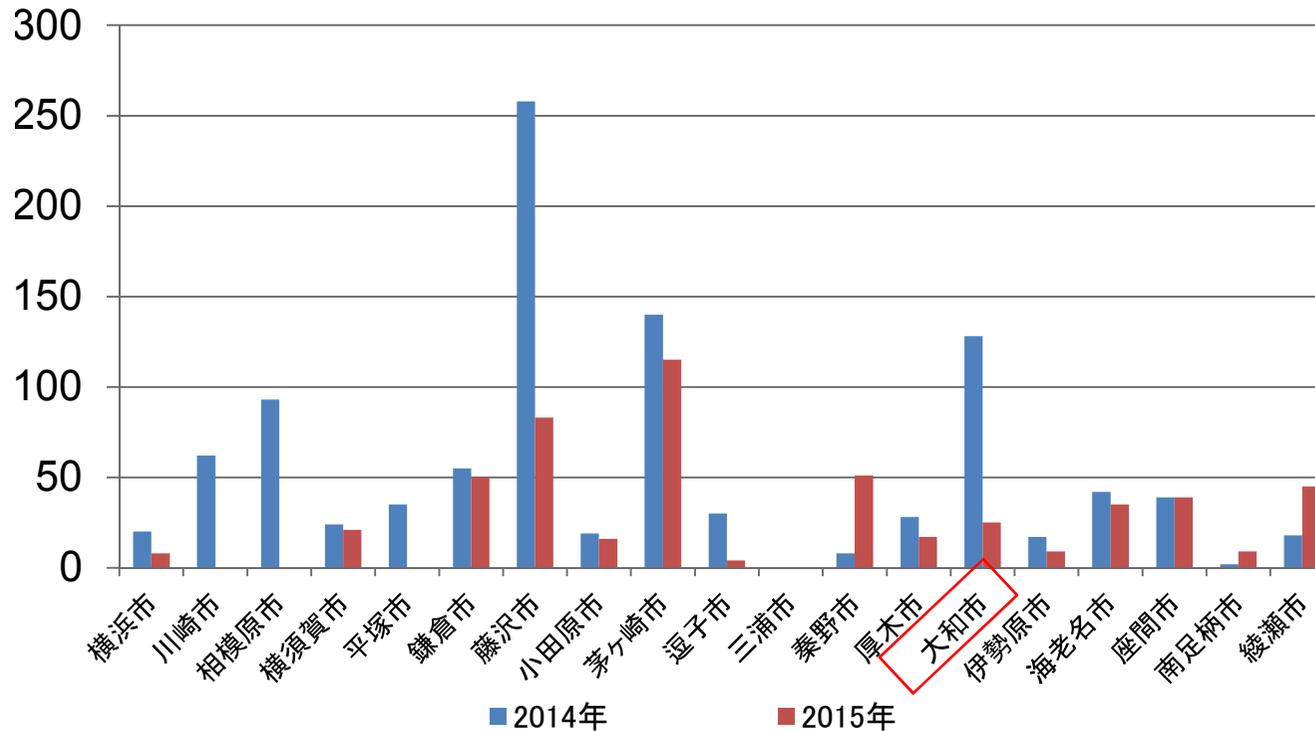


小児科医



# ●子育て関連施設の状況

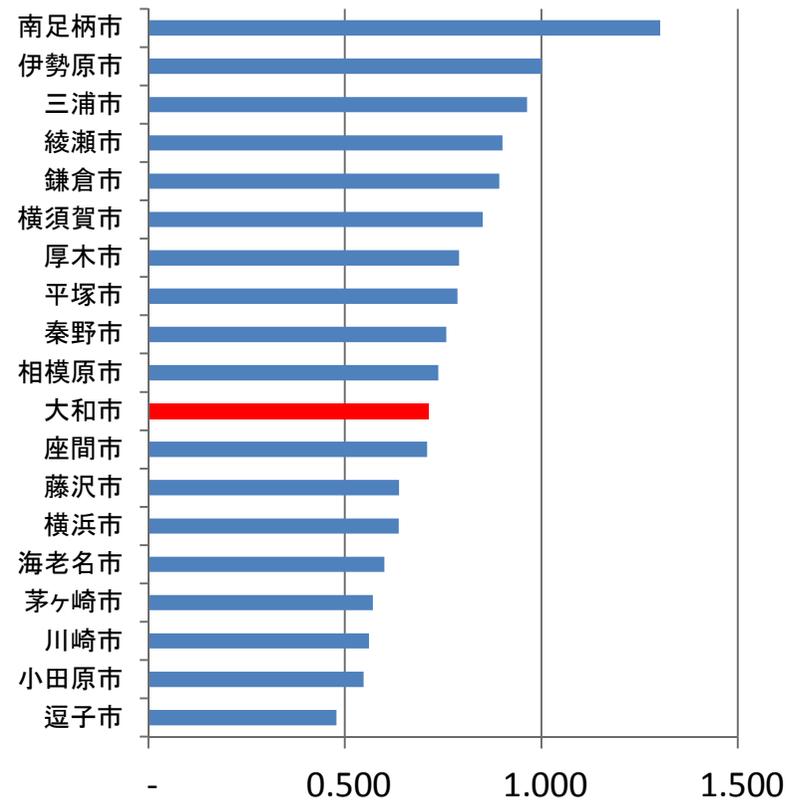
## 保育所等利用待機児童の状況(2014年・2015年4月)



(出所:神奈川県記者発表資料「保育所等利用待機児童数の状況について」をもとに作成)

# ●子育て関連施設の状況

## 3～5歳人口千人当たり幼稚園施設数の状況(2015年度)



## 2. 都市基盤、社会経済状況等

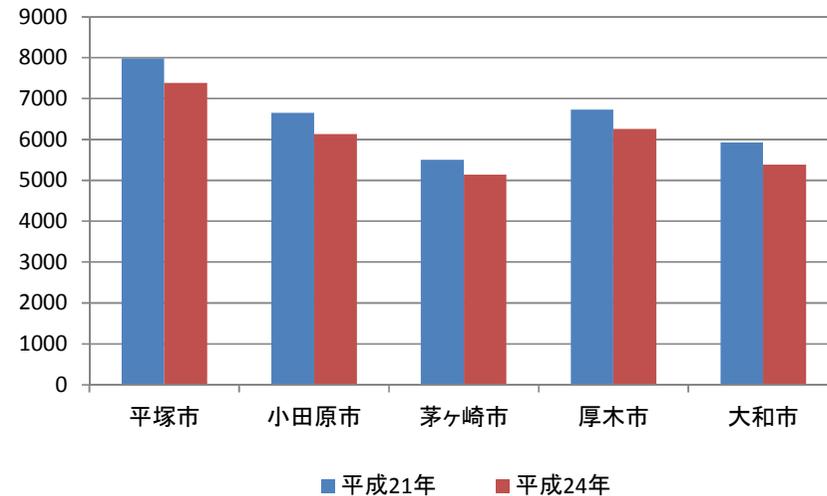
### (3) 雇用、産業等の状況

# ●産業の状況

## 企業数・事業所(県内・人口同等規模の自治体間比較)

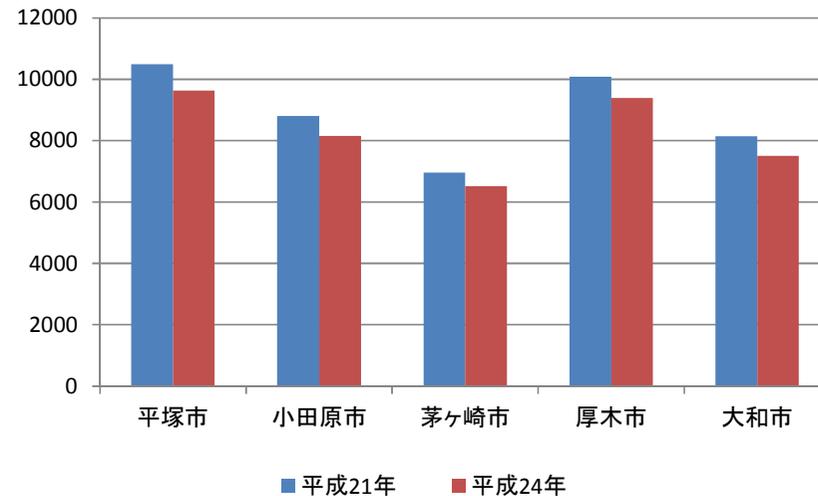
### 類似団体における企業数の推移

	平成21年	平成24年	増減率
平塚市	7984	7386	-7.49%
小田原市	6655	6131	-7.87%
茅ヶ崎市	5499	5139	-6.55%
厚木市	6734	6260	-7.04%
大和市	5926	5388	-9.08%



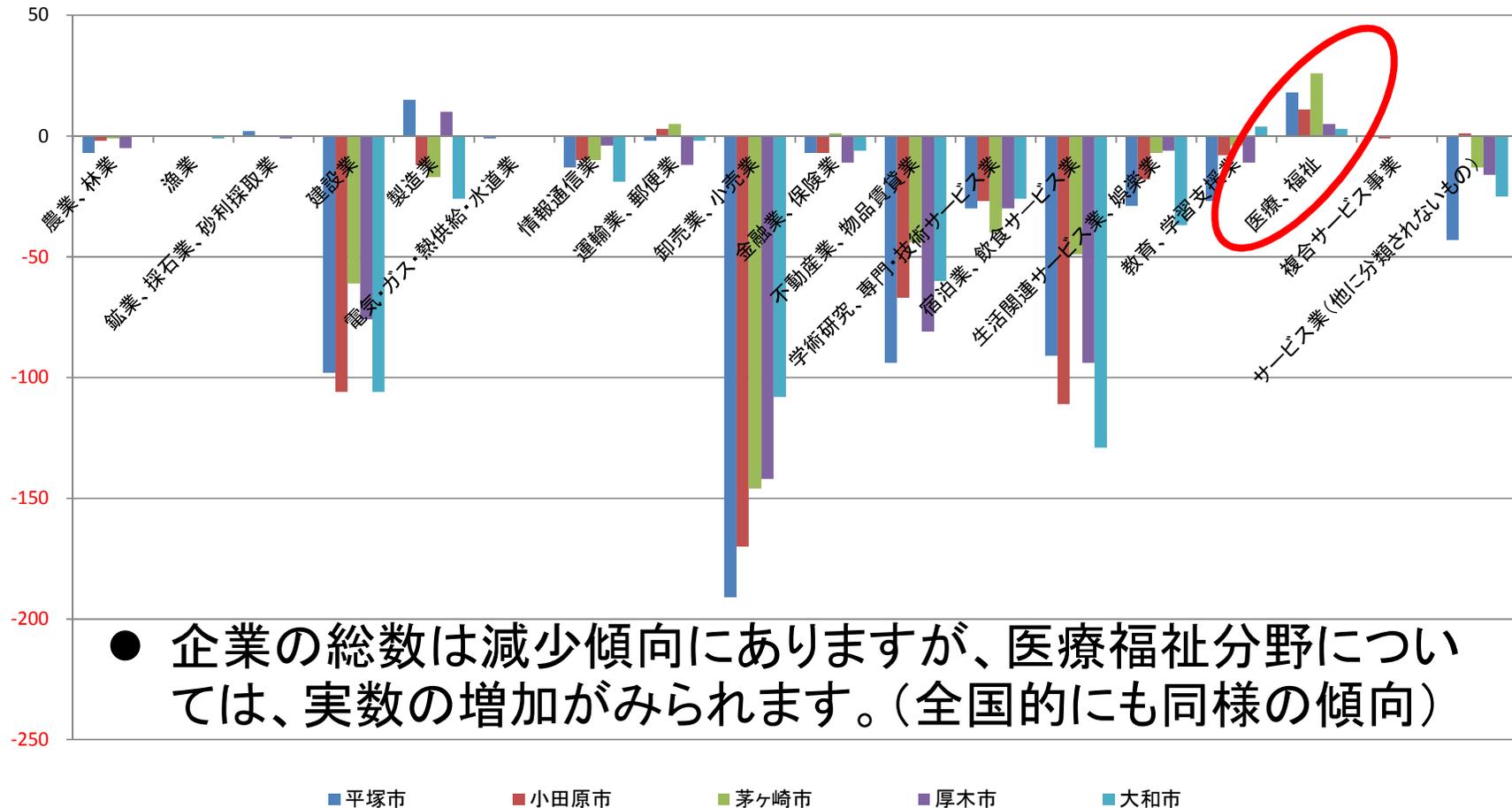
### 類似団体における事業所数の推移

	平成21年	平成24年	増減率
平塚市	10,494	9,630	-8.23%
小田原市	8,805	8,151	-7.43%
茅ヶ崎市	6,957	6,509	-6.44%
厚木市	10,083	9,390	-6.87%
大和市	8,142	7,503	-7.85%



# ●産業の状況

企業数(産業大分類別)の増減 2009年→2012年  
(県内・人口同等規模の自治体間比較)

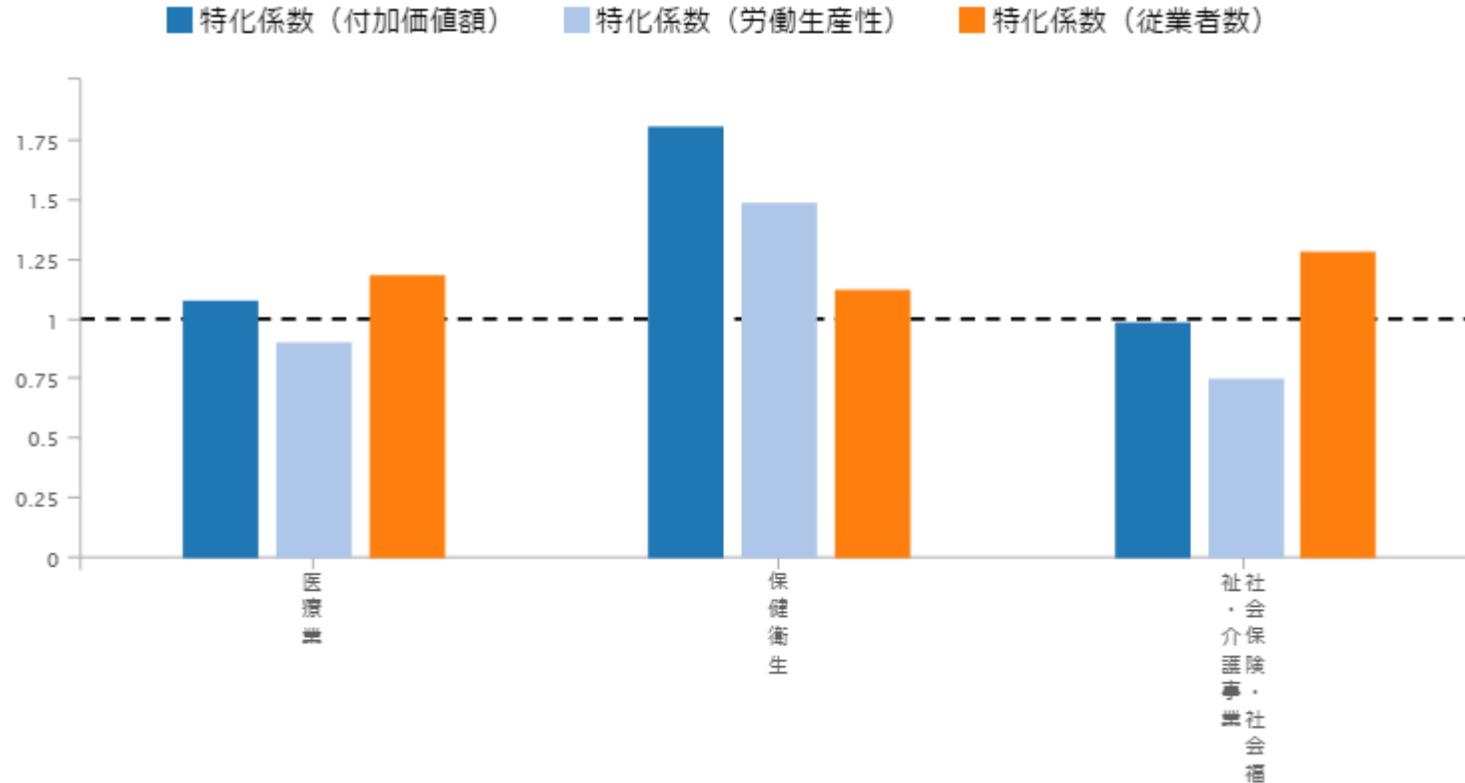


● 企業の総数は減少傾向にあります。医療福祉分野については、実数の増加がみられます。(全国的にも同様の傾向)

(出所: 総務省「平成21年経済センサス」、総務省・経済産業省「平成24年経済センサス」をもとに作成)

# ●産業の状況

## 産業別特化係数(大和市の医療、福祉部門:2012年)



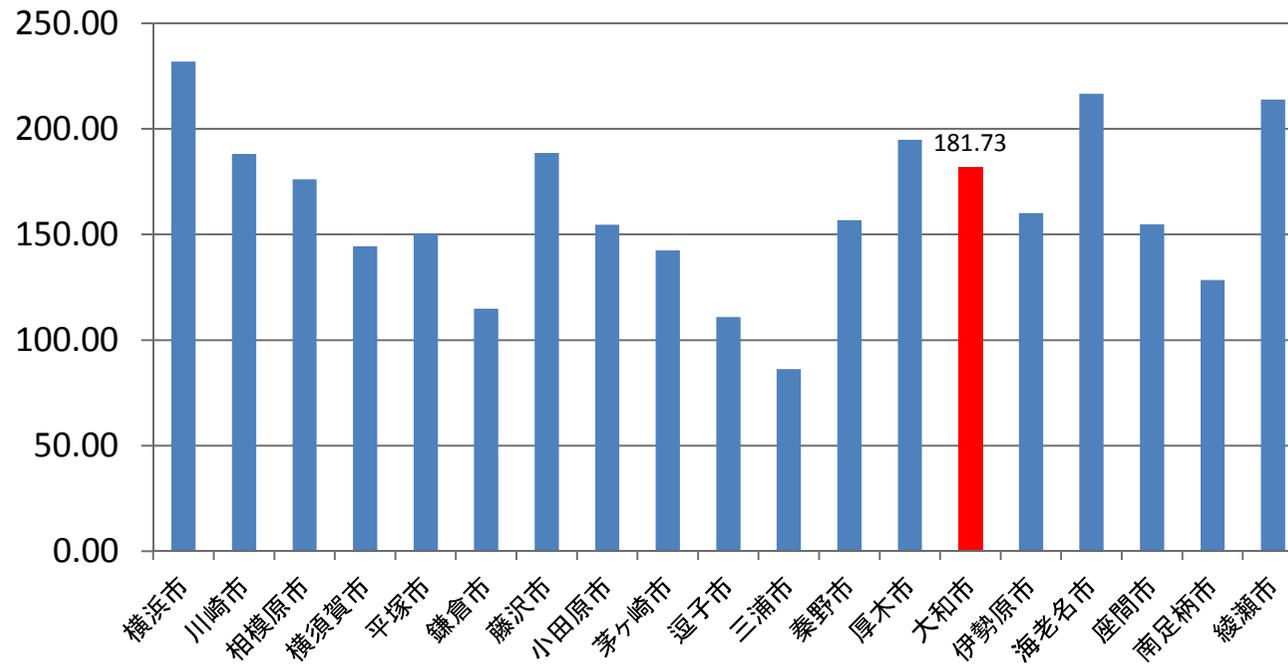
- 大和市では、保健衛生の分野において全国水準より高い傾向が認められます。

特化係数:域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合、全国の当該産業の数値を1としたときの、ある地域の当該産業の数値(RESASより)。

(出所:REASAS、総務省・経済産業省「平成24年経済センサスー活動調査」再編加工から作成)

# ●産業の状況

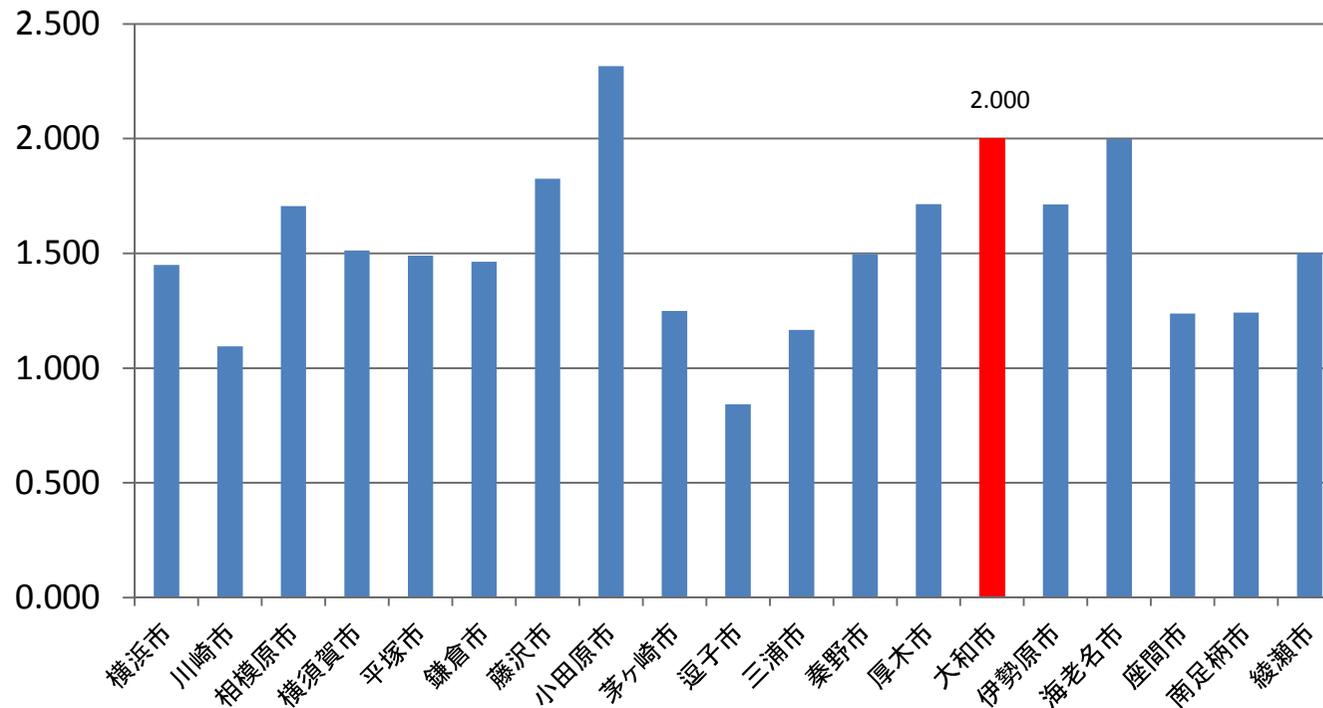
## 小売業1事業所あたり年間販売額(百万円・2012年)



(出所:総務省・経済産業省「平成24年経済センサス」をもとに作成)

# ●産業の状況

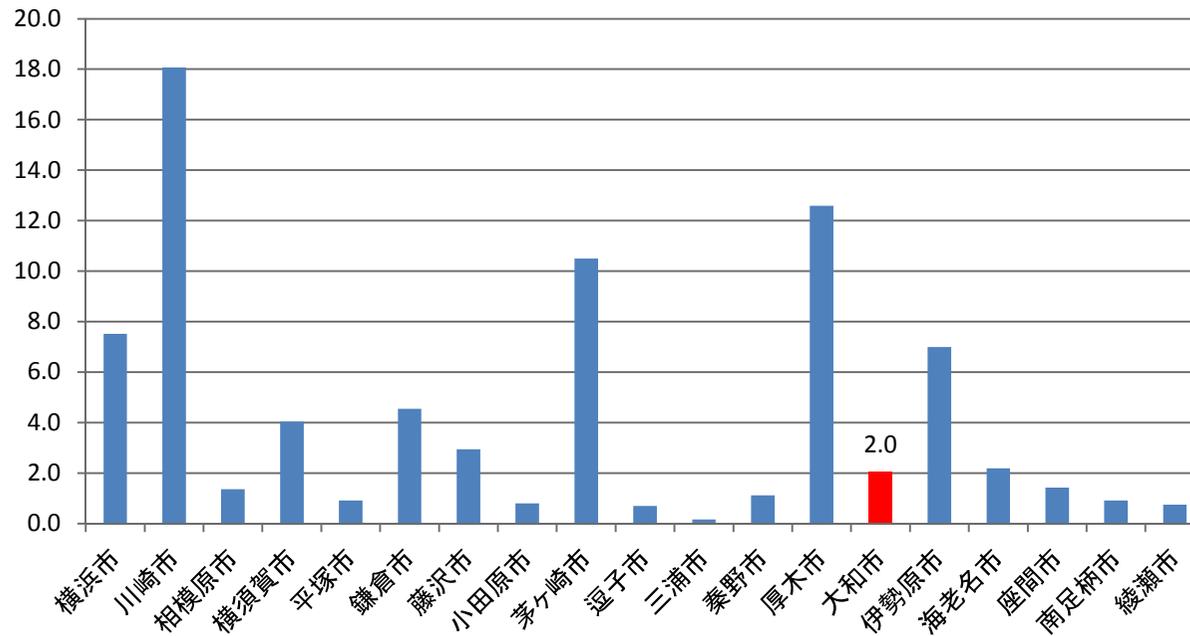
## 小売業市民一人あたり売り場面積(m<sup>2</sup>・2012年)



(出所:総務省・経済産業省「平成24年経済センサス」、神奈川県「人口と世帯」をもとに作成)

# ●産業の状況

## 製造業1企業数あたりでみる特許分布(2014年)



(出所: REASAS、総務省・経済産業省「平成24年経済センサス」、特許庁「特許情報」をもとに作成)